|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 授業科目 | フィジカルアセスメント演習 | 単位数 | １単位 | 時間数 | 30時間 |
| 担 当 者 | 近藤　大作(臨床経験23年) | 学　年 | １学年 | 開講年次 | １学期 |
| 目的 | フィジカルアセスメントを用いた看護の実践ができるための方法を学ぶ。 |
| 科目目標 | １．看護におけるフィジカルアセスメントの意義が理解できる。２．フィジカルアセスメントに必要な基礎的知識と系統的フィジカルアセスメントの視点が理解できる３．フィジカルイグザミネーションの方法が理解できる。 |
| 回数 | 授業計画・授業内容 | 方法 |
| 1回2回3回4回5回6回7回8回9回10回11～13回14回15回 | １．フィジカルアセスメントに必要な基礎知識　１）ヘルスアセスメントとは　２）フィジカルアセスメントとは　３）フィジカルイグザミネーションとは　　２．フィジカルアセスメントに共通する技術（問診、視診、触診、打診、聴診）３．バイタルサインの測定　４．呼吸器系のフィジカルアセスメント　１）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション　　３）アセスメントの視点５．循環器系のフィジカルアセスメント　１）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション　　３）アセスメントの視点６．呼吸器系･循環器系のフィジカルアセスメント７．呼吸器系･循環器系のフィジカルアセスメント８．消化器系のフィジカルアセスメント１）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション　　３）アセスメントの視点９．筋・骨格系、神経系のフィジカルアセスメント　１）基本的構造と機能　２）フィジカルイグザミネーション　　３）アセスメントの視点10．事例検討１）事例から必要な情報および必要なフィジカルイグザミネーションを考える（個人ワーク）11．事例検討１）事例に対するフィジカルイグザミネーションの実際12．事例検討　１）得られた情報をアセスメントして看護を考える13．終了試験（45分）　まとめ（45分） | 講義講義・演習講義・演習講義・演習講義・演習演習演習・事例検討講義・演習講義・演習演習（事例検討）演習演習グループワーク |
| 准看時授業内容 | 基礎看護技術 |
| 教科書参考書 | 教科書：『はじめてのフィジカルアセスメント』メヂカルフレンド社　　　　『系統看護学講座　専門分野　基礎看護学〔２〕基礎看護技術Ⅰ』医学書院 |
| 評価方法 | 筆記試験、学習態度 |
| 関連科目 | 解剖生理学、病態生理・病理学、疾病と治療Ⅰ～Ⅳ |
| 備考 | 目的をもった患者観察が行えるために、フィジカルイグザミネーションをどのように用いるのか、また、イグザミネーションから得られた情報をどのようにアセスメントし、看護実践につなげていくのか演習を通して理解を深めていきましょう。 |